

～スマートシティ都留～

「個性輝く創造社会」
「持続可能な定常社会」
「互恵・共生社会」

平成20年度

全会計予算

252億6,871万円

一般会計予算

115億4,400万円

3月定例市議会において、平成20年度の予算案が審議され、一般会計外15の特別会計及び水道・病院事業会計の2企業会計の予算が決まりました。

平成20年度予算は、第5次長期総合計画に掲げた、21世紀における本市の将来像とする「スマートシティ都留」を目指し、真に必要とされている行政サービスを的確に把握し、本市の特色を活かした魅力ある地域社会を形成するため、「まちづくりの方向」に示された8つの分野を柱として、計画に基づいた事業を重点的に盛り込みながら編成しました。

一般会計

115億4,400万円

一般会計は、基本的な市行政を行うための会計です。

歳入では、全体の34・6%を占める市税が39億9,761万7千円で対前年比0・2%の減、地方交付税は、23・8%を占め27億5,181万7千円で対前年比1・4%の減となっています。

歳出では、総務費が13億6,973万8千円で対前年比14・9%の減、民生費が27億7,409万円で対前年比5・8%の増、衛生費が対前年比1・5%の増、商工費が対前年比42・6%の減、農林水産業費は対前年比3・4%の増、公債費は、15億9,232万7千円で対前年比5・5%の増となっています。

特別会計

101億9,079万9千円

特別会計は、特定の事業を行うために一般会計と区別して経理する会計で、事業収入のほか、国・県支出金や一般会計

からの繰入金などを主な財源としています。次の15会計があります。

都留文科大 29億3,400万円
国民健康保険事業 32億2,976万6千円
簡易水道事業 3億4,782万4千円
住宅新築資金等貸付事業 3億2,979万9千円

老人保健 3億3,644万5千円
下水道事業 10億9,211万5千円
温泉事業 2億4,048万4千円
介護保険事業 18億4,033万7千円
介護保険サービス事業 8億2,677千円
後期高齢者医療 5億1,198万7千円
5つの財産区など 1億8,277万5千円

企業会計

35億3,391万3千円

会計処理には企業会計の原則が適用され独立採算制で行っています。

水道事業 5億1,271万3千円
病院事業 30億2,120万円

市民一人当たりに使われるお金

【一般会計当初予算額÷平成20年3月1日現在の人口32,696人】

科目	金額	科目	金額
議会費	4,863円	土木費	38,497円
総務費	41,893円	消防費	25,545円
民生費	84,845円	教育費	64,379円
衛生費	35,784円	公債費	48,701円
農林水産業費	3,861円	その他	797円
商工費	3,906円	合計	353,071円

各会計別当初予算額の推移

